

代表者名	藤田了次	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	男鹿市船川港台島字鶴ノ崎16	設立年月日	平成4年10月16日

【沿革及び県の出捐理由】

栽培漁業の推進に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大及び漁業経営の安定を図り、もって漁業の振興に寄与することを目的に県等の出捐で平成4年10月に設立する。

【出捐者】(20年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	250,000	49.9
市町村	9	75,000	15.0
その他	5	176,500	35.1
計	15	501,500	100.0

【事業】

①主たる業務

アワビ、クルマエビ種苗の生産及び供給。
マダイ、ヒラメの中間育成・放流。
ガザミの斡旋事業。

②事業実績

(千尾・千個)

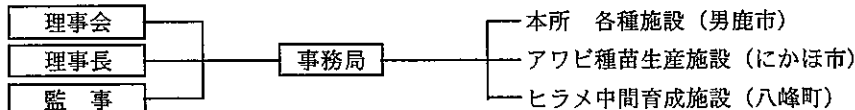
事業名等	17年度	18年度	19年度
アワビ	671	688	750
マダイ	880	827	734
ヒラメ	285	243	223

③19年度事業概要及び20年度事業計画・目標

計画に基づき例年通りの事業を実施した。種苗生産・供給事業において、アワビ、ガザミ、ヒラメ、クルマエビのいずれも基本的には計画通り実施出来たが、クルマエビでは真菌症の発生があり県外への出荷を中止した。また、回遊性資源増大パイロット事業について、ヒラメでは計画数を上回り放流出来た。今後とも漁業経営の安定のために健全な種苗の生産、大量放流、経費の低コスト化を目指し、技術の研鑽及び栽培漁業の啓発普及に努力していく。

【組織】

①運営機構



②役員数 (H20.7.1現在)

(人)

	理	事	監	事
常勤	0	0	0	0
内、県退職者	0	0	0	0
内、県職員	0	0	0	0
非常勤	10	3		
内、県退職者	0	0		
内、県職員	2	0		
計	10	3		
内、県関係者	2	0		

役員報酬支給対象者数	—	人
役員報酬支給対象者平均年齢	—	歳
平均役員報酬額	—	千円/年

③職員数 (H20.4.1時点)

(人)

正職員	3	正職員	正職員
内、県退職者	1	平均年齢	平均勤続年数
出向職員	0	48	9.6年
内、県職員	0		
臨時・嘱託	9	正職員平均年収	
内、県退職者	0	4,397千円	
計	12		
内、県関係者	1		

【財務】

①損益状況 (19年度)

(千円)

	金額
經常収入 A	90,801
受託事業収入	20,442
補助金収入	10,109
自主事業収入	49,880
運用益収入	5,140
その他	5,230
經常支出 B	80,970
人件費	31,063
その他	49,907
經常損益 C=A-B	9,831
經常外収入	0
經常外支出	0
当期損益	9,831

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

②財務状況 (19年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	105,531	17.3
固定資産	503,625	82.7
資産計	609,156	100.0
流動負債	1,994	0.3
短期借入金	0	0.0
固定負債	0	0.0
長期借入金	0	0.0
引当金等	6,856	1.1
負債計	8,850	1.5
基本金	501,500	82.3
剰余金	98,806	16.2
資本計	600,306	98.5
負債・資本計	609,156	100.0

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	6,856	6,856	100.0%

【県の財政支出】

	17年度	18年度	19年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	9,637	12,048	10,109	栽培漁業推進事業補助金
委託費	18,710	19,025	19,072	種苗飼育等業務委託費
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	17年度	18年度	19年度	17-18増減	18-19増減
健全性	自己資本比率	%	98.56	98.51	98.55	▲ 0.05	0.04
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	6,755.06	4,594.06	5,292.43	▲ 2,161.00	698.37
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	81,257	88,974	98,806	7,717	9,832
	経常利益率	%	5.92	8.89	10.83	2.97	1.94
	総資本利益率	%	0.82	1.29	1.61	0.47	0.33
発展性	経常収入額	千円	81,625	86,851	90,801	5,226	3,950
効率性	総資本回転率		0.14	0.14	0.15	0.01	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	6,279	7,238	7,567	959	329
	人件費比率	%	37.33	36.93	34.21	▲ 0.41	▲ 2.72

2 経営目標の達成状況

経営目標			17年度	18年度	19年度	20年度
経営改善指標	県委託費 (千円)	目標	18,614	18,750	18,000	18,000
		実績	18,710	19,025	19,072	
事業成果指標	総支出経費 (千円)	目標	83,000	83,000	83,000	83,000
		実績	76,522	80,272	81,011	
事業成果指標	種苗 (アワビ) の提供 (千個)	目標	600	600	600	600
		実績	671	688	750	
事業成果指標	種苗 (クルマエビ) の提供 (千尾)	目標	4,295	4,500	4,000	4,000
		実績	4,245	3,454	4,859	
顧客満足度指数		目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

補助事業費等が横ばいから削減方向にある中で、経営は概ね順調に推移していると思われる。これまで水産振興センターからの技術移転に努めた結果、平成20年度からマダイ・ヒラメ種苗の直接生産・供給が可能となった。このため、それら種苗の購入経費を削減できたが、今後とも漁協及び漁業者の協力を得るとともに冗費の節約に努めていく。

4 総合評価 (計算書類等の資料による評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<ul style="list-style-type: none"> 種苗生産供給事業は、一部、県外出荷の中止があったが、計画どおり実施された。放流効果実証事業 (マダイ、ヒラメ) についても、概ね放流及び放流効果調査が順調に行われた。 経常収入が前年度を上回ったことにより、利益も増加した。水産振興センターからの技術移転により、今後、マダイ、ヒラメ種苗が生産供給事業となり、受託事業は縮小し、県補助金も減額見込みとなる。 今後、自主事業が中心となり厳しい面はあるが、長期的な成果が期待される。 	